

道連ニュース

2023年5月号 No.197

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

北海道電力(株)による

電気料金値上げ認可申請に係る公聴会参加報告

4月20日(木)北海道電力料金値上げ公聴会にて平専務理事が意見陳述を行いました。北海道電力は、燃料費の高騰を理由に6月1日から平均34.87%の値上げ計画を申請し、(その後、再計算を行った結果、27.85%)に公聴会が開催されました。北海道生協連は、消費者の暮らしに与える影響が非常に大きく、値上幅の圧縮及び原子力発電に頼らない自律的な再生可能エネルギー政策への転換を求め、以下の意見陳述を行いました。



公聴会会場の風景

1. 今回の電気料金の値上げは、物価高騰のなか消費者にとって影響が大きいことから、値上げ幅は必要最低限としてください。
2. 燃料費等の高騰に関する理由以外の原価算定期間に反映しない(再稼働に関する)原価関連の修繕費などを除外して下さい。
3. 北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例(北海道条例108号)への貢献をお願いします。事業者の責務として、「事業者は、その事業活動を行うに当たっては、省エネルギーの推進並びに新エネルギーの開発及び導入に自ら積極的に努めるとともに、道が実施する省エネルギーの促進並びに新エネルギーの開発及び導入の促進に関する施策に協力する責務を有する」ことが謳われています。再生可能エネルギー推進への政策の転換を求めます。
4. 一部大手電力会社のカルテルや不正事案など公正な競争環境が保たれていない点に関し、今後の電力システム改革の政策的な変更(所有権分離)が必要であると考えます。

今後、電力ガス取引監視委員会料金制度専門会合での審査をもとに経済産業省と消費者庁の協議、物価問題に関する関係閣僚会議を経て、認可のプロセスとなります。

『第68回 通常総代会』

網走四地区学校生活協同組合

新型コロナウイルス感染症の流行から3年ぶりに実現となった第68回総代会は、いつもより早めの雪解けが進む3月9日(木)に行われました。



3年ぶりの実現

本年度の総代会は選出総代100名中、出席総代29名と書面議決書合わせて合計92名となり、総代会成立の報告後議事に移りました。

事業報告の中では、自主供給高が4,877万円(前年比99.5%)、幹旋供給高が1億6,939万円(前年比106.5%)とほぼ昨年並の報告となりました。そのほかの審議事項において子法人の決算概況や次年度の事業計画などが審議され全ての事項が承認されました。年度末の御多忙にもかかわらず出席していただいた、総代、理事、監事そして来賓の皆様のご理解とご協力にあらためて感謝申し上げます。

現代社会は、全国的な少子化や全世界的な情勢の不安

定さ、急速なAI技術の進化など、予測の付かない未来に直面しています。私たち学校生協を取り巻く環境においても同じことが言えます。

これらの未来の変化を予測し、柔軟かつ効果的に対応していくには、組織全体で協力し、持続的な発展を図っていかねばなりません。

人と人のかかわり合いが希薄になりつつある現代社会において、学校訪問を通じた対面販売は、網走四地区学校生活協同組合の強みであり、顧客との信頼関係を築く上で重要な手段です。

未来の変化を予測し、柔軟な営業戦略を展開するためには、組織全体での協力と情報共有、顧客との深いコミュニケーションを大切にすることが不可欠です。網走四地区学校生協の強みを活かし、持続的な発展を目指して、組織一丸となって取り組んでいきます。



柔らかな光が温かいです

大学生協 新入生を迎え入れる取り組みのご紹介

キャンパスに、笑顔と活気が戻りつつあります

大学生協同組合連合会 北海道ブロック 事務局長 古屋 歩

全国大学生協連合会が毎年行っている「保護者に聞く新入生調査」によると、北海道内の大学に進学された保護者の2人に1人が、友達作りに不安を感じています。また、春になるとSNS上で「#春から〇〇大」という投稿が増え、学生自身も人とのつながりを求めていることがうかがえます。

大学生協では学生組織委員会を中心に、友達作りやサークル紹介、生協店舗の利用方法などを伝える「新入生歓迎企画」を長年行っていましたが、2020年3月のコロナ禍以降、対面実施ができない期間が続きました。

コロナ規制の緩和を受け、2023年は対面での友達作り企画に取り組む組織委員会が数多くありました。失われた3年の影響は大きく、対面での新入生歓迎企画に参加したことがないメンバーが大半です。ノウハウが失われた中、手探りながらも、新入生に充実した楽しい大学生活のスタートを切ってほしい、という思いで、大学や生協職員との調整、学生同士での議論を重ね、苦勞しながら歓迎企画の実施までたどり着きました。

運営当日はたくさんの新入生が参加してくれました。9割近くの新入生が参加する大学もあり、改めて大学生活において友達作りが求められていることを実感しました。開始直後はよそよそしかった新入生同士が、30分もすると自ら声を掛け合い、談笑している姿が見られたのはとても印象的です。新入生だけでなく、運営を行なった先輩学生自身も楽しみ、友達作りの機



帯広畜産大 新入生に大学生活を伝える先輩

会を先輩学生として作ることの意義や価値を感じることができました。

また友達作りだけではなく、新入生が最初に苦勞する履修登録のアドバイスや、部活・サークルの案内企画なども旺盛に行われ、新しい大学生活を様々な角度からサポートする取り組みが行われました。

2023年4月、3年ぶりに大学キャンパスに学生の姿が戻りました。コロナ禍以前には及ばないものの、多くの学生が笑顔で行きかうキャンパスは活気にあふれています。組織委員の取り組みは、キャンパスに笑顔を運んでくれました。この笑顔を守り、卒業まで有意義な大学生活を過ごしていただけるために何をするのか、大学生協職員として身の引き締まる思いで笑顔を見つめる毎日です。



はこだて未来大生協参加者集合写真